



特別支援学校生徒の

「地元で働きたい」を応援

長崎県では、特別支援学校の生徒たちの「働きたい」を実現するために、授業やキャリア検定、現場実習などの職業教育を通して、仕事に必要な資質や能力を育成しています。また、2022年から「特別支援学校就労支援フォーラム」を開催しています。地域の企業や特別支援教育に関わる方など、多くの方に学校や生徒の取り組みを知っていただき、生徒が卒業後に地元産業を支え活躍できる環境づくりについて考えます。

Check!!

特別支援学校 就労支援フォーラム2024

「障害のある方のよき職場づくりのために」をテーマに、株式会社リンガーハットの総務人事部長による講演。県内企業関係者を招き、多様な職種における障害者雇用についてパネルディスカッションも実施します。

参加
無料

申し込みは
こちら



締め切りは
11月22日(金)まで

昨年の参加者の声【企業からの参加】

障害者雇用を検討していますが、弊社で雇用できるのかなどの不安から実行できないのが現状です。ただ、今日の講演を聞き、まずは関係機関に話を聞いてみるなど実行に移すことが大切だと感じました。健常者、障害者と区別をつけるのではなく、一個人としてその人を見ることも大切だと教わりました。大変参考になるフォーラムでした。



昨年の参加者の声【学校からの参加】

企業側の考え方などを学べて良かったです。今後、障害者雇用や実習などを検討していただける企業が増えてくれたら良いと思いました。



昨年のフォーラムの様子

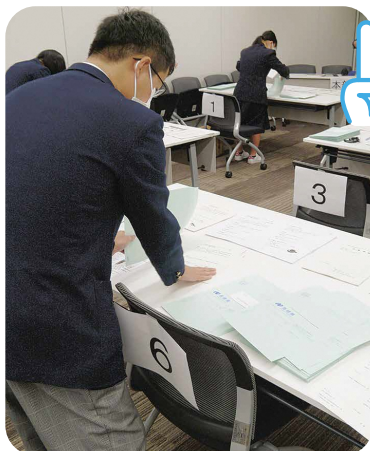
日時 11月29日(金) 13時00分～16時30分

会場 長崎県庁
大会議室ABC

対象 県内企業、ハローワーク等就労支援機関、
特別支援学校関係者、県内特別支援学級設置校関係者

【問い合わせ】長崎県教育庁特別支援教育課 TEL 095-894-3403

特別支援学校の
職業教育を紹介！



検 定 で スキルアップ

職業的自立のために必要な知識や技能、態度を養うためにキャリア検定を実施。

「事務アシスタント」検定では、資料のピックアップ、二つ折り、封入などの文書発送準備業務の技能を身に付けます。



現 場 実 習 でウィンウィン

受け入れ先事業所で数日から3週間程度、業務を体験します。生徒にとっては学校で培った力を試し、成果と課題を整理する貴重な経験です。

企業にとっても、適性や勤務態度を把握する機会になり、一緒に働く方の不安の軽減にもつながります。

原口先生ってどんな先生？

中学校教諭になって3年目。教科は数学を担当しています。九州を中心に活動する「よさこい」のチームにも所属し、精力的に活動しています。

先生のリフレッシュ方法

バイクでのツーリングも楽しんでいます。柴犬を飼っていて、一緒にいるだけで癒やされます。



Teacher's File

長崎の学校で生き生きと働く
先生たちにスポットを当てます

今回紹介するのは
佐世保市立清水中の

原口 太志先生

授業もよさこいも全力で

教師を目指したきっかけは

中学生の時、担任や部活の先生が一人一人に寄り添って指導する姿を見て、教師に憧れるようになりました。人生の分岐点の一つが中学時代。どんな高校に進学するか、高等専門学校に進むのか、就職するのかで今後が大きく影響します。やりがいのある仕事だと思い、中学校教諭を志しました。

この仕事に就いて良かったと思うとき

「分かった」「できた!」という瞬間に立ち会えた時です。生徒の晴れやかな表情を見ると、自分もうれしくなります。授業は一方的に教えるのではなく、生徒と一緒につくることを心がけています。生徒同士が教え合う時間を設けるなどメリハリをつけ、楽しくにぎやかな授業になるように工夫しています。

仕事以外で熱中していることは

週に1回、よさこいの練習に励んでいます。「YOSAKOIさせば祭り」をはじめ、全国のよさこい祭りにも参加しています。よさこいを始めたのは大学生になってから。熱気あふれる踊りにすぐ夢中になりました。自分をより表現できるようになり、人とのつながりが深まったと思います。